

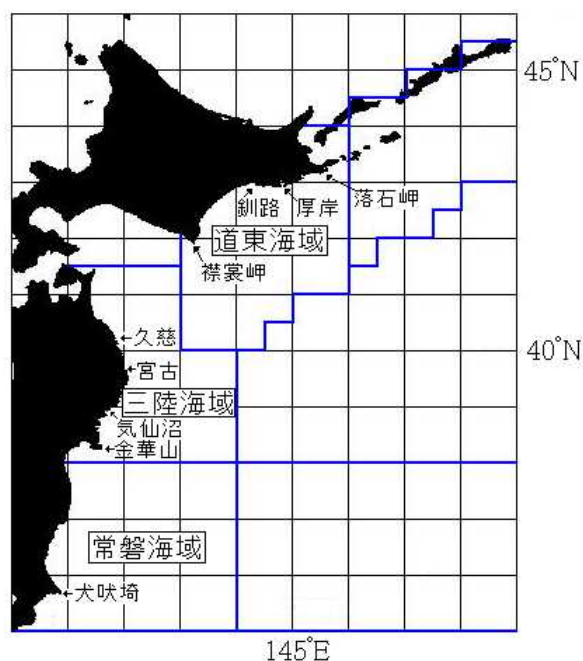
平成30年度 第8回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2018年11月下旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域は、終漁。
- ・三陸海域では、来遊量は低位水準で減少する。
- ・常磐海域では、来遊量は増加するが、低位水準である。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部
担当：渡邊、松尾
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

平成30年度 第8回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2018年11月下旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、終漁。

(2) 漁場

漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

11月下旬～12月中旬は、来遊量は減少する。12月中旬は断続的な来遊となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月下旬～12月中旬は、三陸南部が漁場となる。

3) 常磐海域

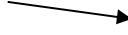

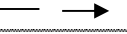
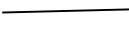
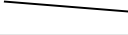
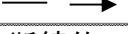
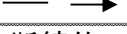
(1) 来遊量

11月下旬は、来遊量は増加するものの低位水準である。12月上旬から来遊量は減少し、12月中旬～下旬は断続的な来遊となる。

(2) 漁場

11月下旬～12月下旬は常磐北部が漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量				
	動向				
	漁 場				
三陸海域	来遊量				
	動向	低位減少	低位減少	断続的	
	漁 場	南部	南部	南部	
常磐海域	来遊量				
	動向	低位増加	低位減少	断続的	断続的
	漁 場	北部	北部	北部	北部

3. 漁況の経過概要（11月上旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年並の低位水準であった。道東海域よりも南東側の落石南東～南南東沖における来遊量の水準は、前年を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域よりも南東側では来遊量は徐々に減少した。

(2) 漁場

道東海域では、漁場は形成されなかった。

主漁場は、道東海域より南東側の、落石南東230海里～落石東南東360海里であった。落石南東230海里～落石東南東360海里（12～18℃）では、大型船と小型船が多数操業。大型船で最高125トン、平均35トン程度漁獲した。

(3) 魚体

道東海域より南東側では、体長29～30cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は、110～130g台が主体であった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、前年並の低位水準であった。日別CPUEから判断すると、三陸海域における来遊量は期後半に減少した。

(2) 漁場

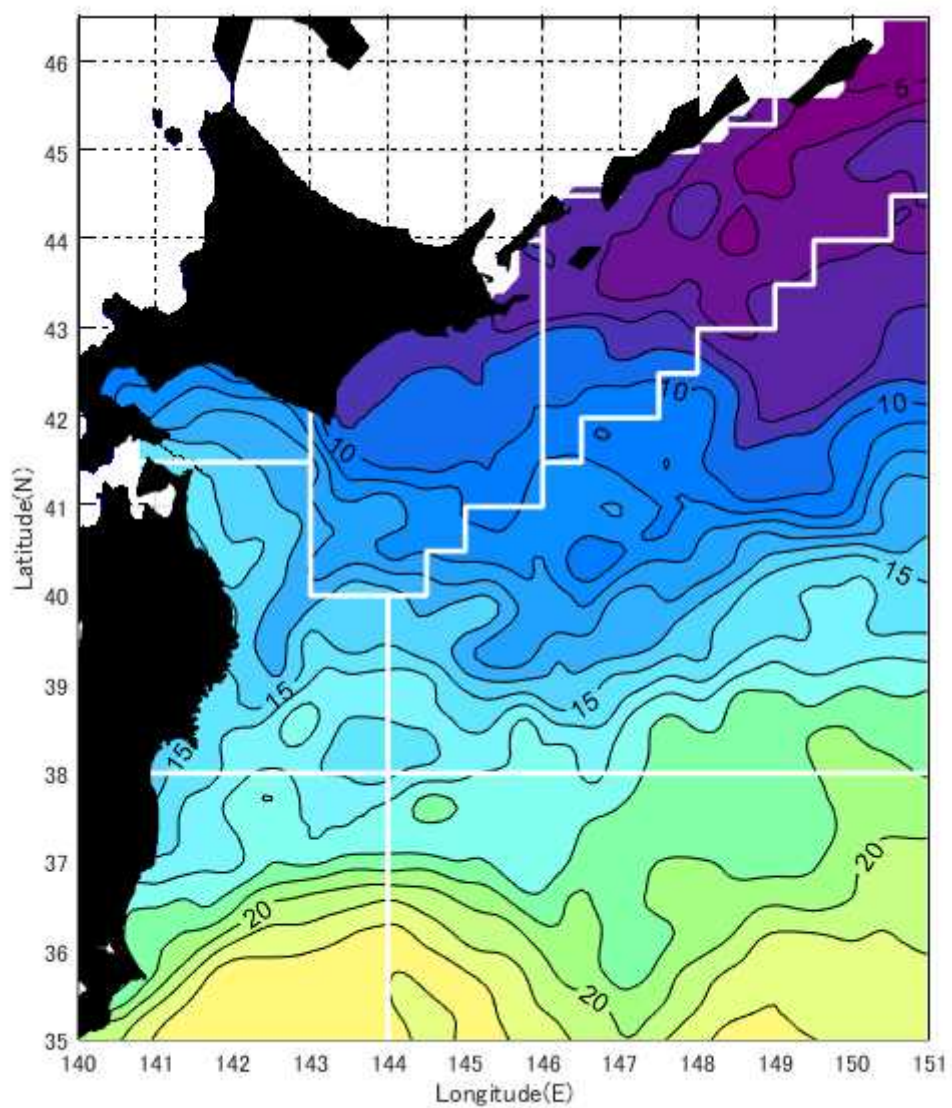
三陸海域では、宮古東～大船渡東沖が漁場となった。宮古東60海里～大船渡東10海里（16～18℃）では、大型船数隻と小型船が操業。大型船は最高10トン程度、小型船は最高30トン程度漁獲した。また三陸海域より東側の釜石東沖の130～260海里（14～18℃）では、大型船が数隻～60隻程度と小型船が操業し、大型船で最高90トン、平均15トン程度漁獲した。

(3) 魚体

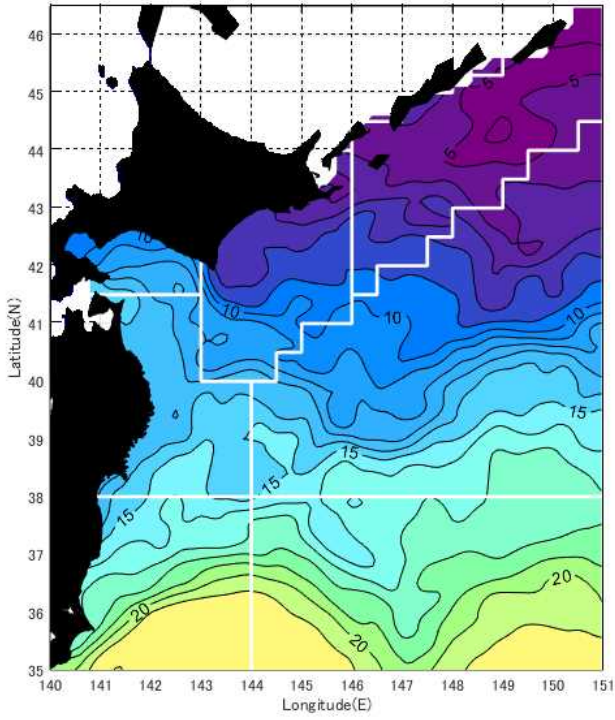
三陸海域では、体長29～30cmモードと24～26cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は、110～130g台が主体であった。

4. 予測水温分布図

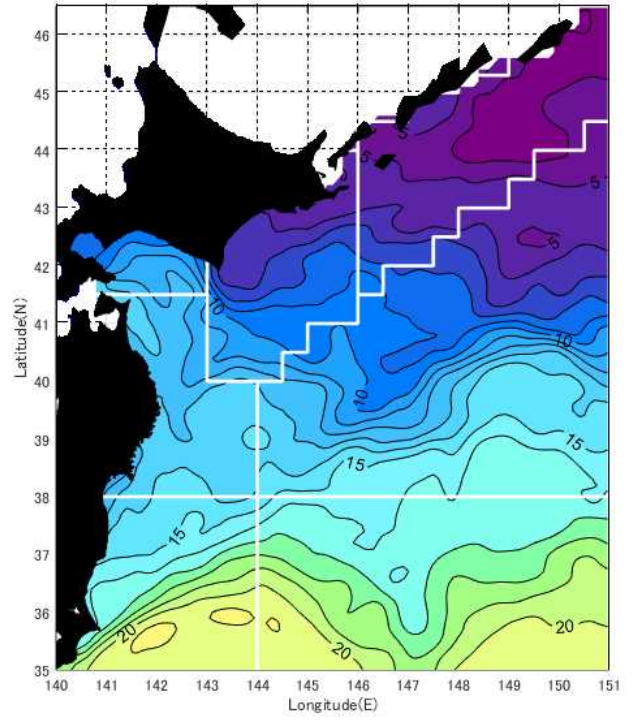
11月下旬予測表面水温分布図



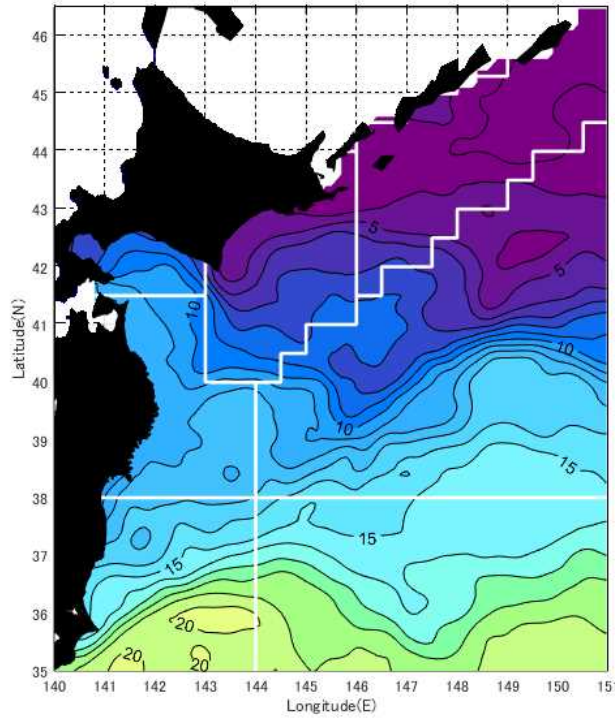
12月上旬予測表面水温分布図



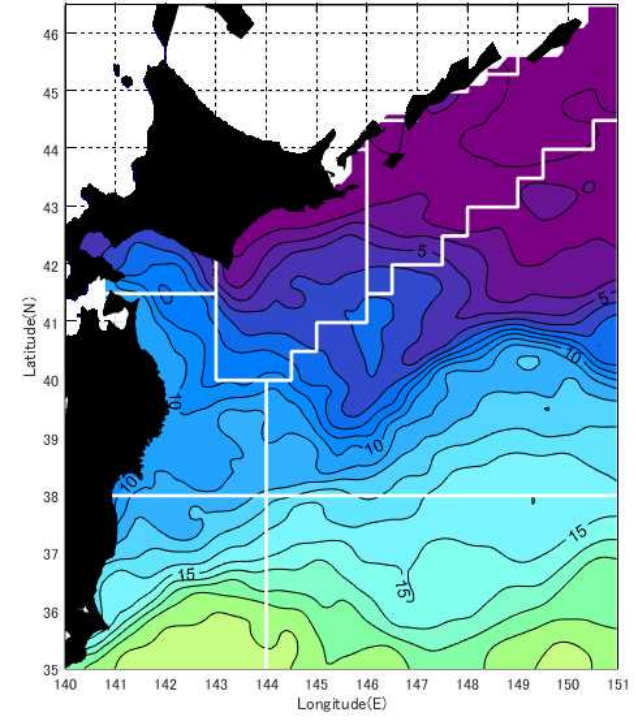
12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



1月上旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	--